

「令和2年度鹿児島県図書館大会」を開催しました

県立図書館

令和2年度テーマ：図書館の可能性 ～「これからの図書館」の実現に向けて～

県図書館大会とは

鹿児島県図書館大会は、本年度で第43回を迎えた県下の読書活動や図書館の利活用を推進する目的で実施されている会で、例年600人以上の参加があります。

コロナ禍における大会の実施

今年は、コロナ禍により対面による実施の可否が検討されましたが、参加者数の縮減、電子申請による参加申込み、完全指定席での実施など様々な感染症対策を講じながら、354人の参加者を集めて対面での実施となりました。

新たな取組と大会の進化・充実

近年は、3年間を通したテーマを設定し、その実現に向けて取り組んできているところですが、今年度はテーマ「図書館の可能性」の3年目、最終年度として「『これからの図書館』の実現に向けて」のサブテーマのもと、

- ・ 分科会を5から10に増やす
- ・ コーディネーター方式の導入
- ・ 「指定管理者制度」分科会の新設 など

「『これからの図書館』の可能性に向けた挑戦として」という観点から新たな試みがありました。

中でも10の分科会の中から参加者が2つを選択し、午前、午後に分かれて参加していただく形態は、参加者の皆さんから「複数の分科会に参加できてよかった。」というご意見を多数いただきました。



【分科会の様子】



3年目を締めくくる講演

3年間のテーマを締めくくる講演として、「困ったときには図書館へ」の著者である国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構監事の神代浩先生による講演も行われました。

「図書館で住民、児童生徒の課題解決を支援する」という公共図書館、学校図書館が図書館らしくあるための基本的な考え方から、そのために取り組むべき具体的な方策まで分かりやすく御教授いただきました。参加者からも「図書館の可能性が広がり、課題が見えた気がした。」「学校図書館を生徒が今を感じられる場所にしていきたい。」など多くの感想がありました。



【講師：神代 浩 氏】

大会では、次の個人・団体が表彰されました。

<子どもの読書活動推進優良図書館等表彰>

- 鹿児島市谷山北公民館図書室
- いちき串木野市立川上小学校
- 龍郷町立秋名小学校
- 出水市立出水中学校
- 県立川内高等学校
- てるてるクラブ（いちき串木野市）



【表彰式の様子】

<全国優良読書グループ表彰>

- ストーリーテリングの会「おはなしの森」

<県優良読書グループ表彰>

- オリオン文庫
- 図書室ボランティア 茶々の会（以上鹿児島市）
- すずの音（枕崎市）
- おはなし ととけっこう（南さつま市）

<功労者表彰>

- 吉丸 泰生 様（(株)エコフロント西部代表取締役）

<公共図書館（室）永年勤続者表彰>

- 松山 裕美 様（鹿児島市立図書館）
- 中村 ゆかり 様（枕崎市立図書館）
- 吉田 美奈子 様（鹿屋市立図書館）

<学校図書館（室）功労者表彰>

- 郷田 厚洋 様
- 山下 涼子 様
- 植田 由紀子 様
- 三神 守 様
- 森 美加 様
- 東 ゆかり 様
- 向吉 理知子 様
- 三宅 典子 様